

## 第49回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年3月29日（火） 10:00-11:30

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

常田座長代理、関委員、永田委員、永原委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

河西局長、岡村審議官、坂口参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

福井課長

国分室長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS）

國中所長

藤本部長

和歌山大学

秋山教授

4. 議事要旨

(1) 大学等を中心とした人材育成のあり方について

宇宙基本計画工程表で「宇宙関係者の裾野拡大も見据えて、学校教育等と連動した人材育成の取組を実施する」とされていることを踏まえ、本小委員会で検討を行ってきた「我が国の宇宙産業の拡大、小型コンステレーション時代を見据えた大学等を中心とした人材育成のあり方について（案）」について議論を行った。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

○人材育成のあり方について目指す方向性は良いが、今後それをいかに実現していくかが重要である。

○人材育成はどの分野でも重要であり、宇宙の人材育成に何が足りないのかなどの現状の分析をしっかりと行ったうえで、政策化していくべき。

○大学でも上流まで考える教育ができていない。システム要求を渡されて、システム構築を行うのみで、その上流のミッション要求や目的まで考えた教育ができていない。

(2) 宇宙科学・探査プログラムの今後の方針及び進捗状況について

宇宙科学研究所（ISAS）から宇宙科学・探査プログラムの今後の方針及び進捗状況について、

・新しいミッション立上げ方法に基づき、宇宙科学コミュニティと宇宙科学研究所の開かれた関係と協力のもと、プログラム化を強化することで、次期戦略的中型計画、戦略的海外共同計画等の立案を行い、優れたミッションを創出

・これらの実施に必要な「技術のフロントローディング」の一層の強化を行う  
旨の説明があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。  
(○：意見等)

- 公募型小型計画の公募についても、戦略的中型創出グループ（GDI）との連携を密に取る必要があるのではないか。
- これまで別々の議論をしていた学会をまたいで検討を行う場をISASが作るのは、全体のロードマップを作るうえで重要ではないか。
- 基礎研究の段階は越えており、事項化される前の技術に対して、フロントローディングを活用することが重要ではないか。
- 宇宙分野に必要となる技術を漫然と開発するのではなく、特定のミッションにクリティカルに必要となる技術にフロントローディングを活用すべきではないか。
- フロントローディングについては引き続き検討することとなった。

以 上